

全関西出場記録

MJクラブ 高山直樹

3日間開催の全関西ミニ、1日目に1勝1敗となり、優勝・1位リーグへの出場という目標を失った中で2日目以降を立て直す事ができるのか。

この大会は、県予選と同じくマンツーマン採用となっていた。広島ルールで、ミドルライン(バスケットとバスケットを結ぶライン)に青い線が引いてあり、ヘルプサイドのプレイヤーは、線を大きく踏み越えて守ってはいけない。

この線がくせ者で、選手のヘルプの意識を一瞬躊躇させる。

大会前のチーム練習では過剰に意識させないため特別な対応はさせてなかった。青ライン1本により守りに迷いが生じた格好だ。

特に2日目の2試合目、引野戦からその迷いが大きくなり、リズムに乗れない状態になった。おまけに、前の試合でのキャプテンの負傷も重なり、チームの重苦しさはこの試合が頂点になった。

このような状態では、対戦相手にかかわらず、こちらの思い描く戦いができるすべもなく、あっさりと完敗となった。今シーズンで、最も出来の悪い試合であった。

3日目は、島根県1位との対戦だったが、キャプテンが試合に出ることはなく、2qにオール5年を使う冒険を打ち霽囲気の高揚を試みたが、反って霽囲気が悪くなる事となった。

ダメな時は何をやってもダメなんだと大反省。

というわけで、いろいろ勉強ができた大会となりました。

負けるということは、成長させるということだと強く感じた3日間でした。

県内から応援に駆けつけて下さった多くの方々に対し、この場をお借りして謝辞申し上げます。ありがとうございました。

平成27年8月31日